

## 14 仏教の基礎を学ぶ—私の仏教観

【全4回】／開催方法：ハイブリッド

たけむらまさお  
竹村牧男

東洋大学名誉教授



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000(納入期限：10月1日)

【日程・時間】【全4回】 10月5日(土) 13:20~14:50・15:00~16:30  
10月6日(日) 10:30~12:00・13:20~14:50

■受講に必要なもの  
レジュメ配布

世界には、さまざまな宗教が存在しているが、そのなか、仏教という宗教は、どのようなものなのか、その基礎から学ぶことを目的とする。仏教には、いわゆる小乗仏教や大乘仏教など、種類の仏教があるが、ここでは主に大乘仏教の基本を学ぶこととする。

初めに、宗教とは何なのかについて、宗教学の種類の知見を学ぶとともに、宗教と倫理・道徳等の違いについて、西田幾多郎の宗教哲学における説により理解を深める。

次に、大乘仏教の中心的な教理である「空」と「縁起」について、「我」と「法」という観点に基づきつつ、解説する。縁起の思想は、世俗諦と勝義諦の異なる地平において、適切に理解されるべきことをも解説する。

次に、大乘仏教に説かれる仏という存在の内容について、菩提（智慧）と涅槃とから説明し、法身・報身・化身等の仏身論についても解説する。また、三世十方多仏説の内容、仏が住まう仏国土などについてもふれる。

最後に、修行の道筋の見方や、初発心より成仏するまでに要する時間等について、主に唯識思想の立場を説明すると同時に、特にその初心の段階の修行のありかたや、基本的な修行とされる六波羅蜜等について解説する。さらに自力と他力の問題についても考えてみたい。

以上、「第一講・宗教とは何か、第二講・空と縁起について、第三講・仏とは何か、第四講・仏道修行について」、という組み立てで、仏教の全体像についての理解を深めていただこうと考えている。